

～11月10日は、「エレベーターの日」～ 地震発生時のエレベーターに関する実態調査、結果発表

地震発生、 その時、エレベーターに 乗っていた場合の 対応法について

大きな揺れが来る前に、
エレベーターを最寄りの階に
停止させる装置を知っていますか？



【エレベーターかご内の安心ディスプレイ】

【マンションやオフィスビルでエレベーターに乗っている時に地震に遭遇した場合、あなたは？】

- エレベーターは、マンションやオフィスビル、商業ビルなどにおいて、縦の動線として欠かせないものとなっています。当社では、安全に安心して利用していただくため全国約24万台にも達するエレベーター・エスカレーターを24時間・365日見守っています。
- エレベーターが生活の一部となっているにもかかわらず、マンションやオフィスビルでエレベーターに乗っている時に地震に遭遇した場合の正しい対処方法について十分に理解されていない状況です。
- 本レポートでは、東京・大阪にお住まいの方3,000名を対象とした調査結果をはじめ、地震や火災時などのエレベーターの利用に関する注意点などについてご紹介します。

地震・火災時の避難にエレベーターの利用は厳禁です。

たとえエレベーターが動いていても、絶対に乗ってはいけません。火災階に止まって扉が開いてしまったり、火災に伴う停電のため、かご内に閉じ込められる危険があります。

また、地震や火災がおさまった後もエレベーターは危険です。専門の技術者が点検を行うまでご使用にならないで下さい。ご近所に火災が発生した場合にも、停電によって停止する場合があります。



エレベーター内で地震を感じたら全階のボタンを押しましょう。

エレベーターの中において揺れを感じたら、ただちにすべての階の行先ボタンを押し、停止後、すみやかにエレベーターから降りてください。



万一、エレベーター内に閉じ込められてしまったら インターホンで通報してください。

無理に外へ出ること禁物です。インターホンで管理室へ通報してください。エレベーター内は窒息の危険はまったくありませんので、あわてずに管理者の指示に従ってください。

管理者が不在の場合は、扉をたたき大声で外部の人に知らせ、エレベーター管理会社に連絡をとってもらってください。



停電になってもあわてずに、落ち着いて待ちましょう。

走行中に停電になっても、停電灯が自動点灯します。電源が復旧すれば再び正常に運行しますので、インターホンの指示に従い、落ち着いてお待ちください。停電が復旧したら、改めて行先ボタンを押してください。



※「停電時自動着床装置」が装備されていれば、停電検出後、自動的にエレベーターの状態を確認し、バッテリーで速やかに最寄り階へエレベーターを動かし扉を開けます。その後、扉が閉まり停止状態になります。電源が復旧すれば自動的に平常運転に戻ります。

1. エレベーター内で地震に遭遇した場合の正しい対応法への理解度

エレベーターに乗っている時に地震に遭遇した場合の対応法について、正しいと思われることについて複数回答で選択していただきました。この質問の選択肢は、すべて正しい対応方法ですが、回答によって高低があり、さらなる周知徹底が必要であることが判明しました。

Q1. エレベーターに乗っている時に地震が発生した場合の対応法として正しいと思えるものをいくつでもお選びください(複数回答) n=3,000

	実数	比率
万一、エレベーター内に閉じ込められたらインターホンで通報する	1,967	65.6%
エレベーターが停止後は、すみやかにエレベーターから降りる	1,911	63.7%
エレベーター内で地震を感じたら全階のボタンを押す	1,570	52.3%
万一、エレベーター内に閉じ込められたら携帯電話などで外部に連絡する	1,490	49.7%
万一、エレベーター内に閉じ込められても無理に外へ出ない	835	27.8%
万一、エレベーター内に閉じ込められたら大きな声や扉をたたいて助けを呼ぶ	711	23.7%
わからない	287	9.6%

2. エレベーター内で地震に遭遇した場合の正しい対応法の周知活動が必要

エレベーターに乗っている時に地震に遭遇した場合の対応法について、より多くの方への周知活動が必要と思っている方が93.0%に達しました。エレベーターに乗っている時に地震に遭遇する可能性がどなたにもあるため、周知活動の重要性を多くの方が理解していることが判明しました。

Q2. エレベーターに乗っている時に、地震が発生した場合の対応方法について、より多くの方への周知活動が必要だと思いますか？

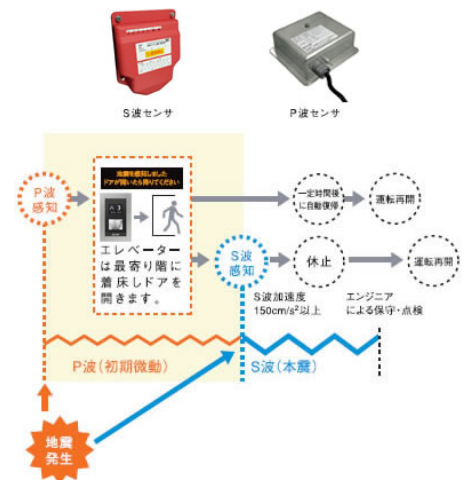
	実数	比率
周知活動が必要だと思う	2,791	93.0%
周知活動が必要だと思わない	209	7.0%
計	3,000	100%

■地震時管制運転装置について

地震発生時にエレベーターを最寄り階に停止させる 地震時管制運転装置を備えたエレベーターとは？

地震が発生した場合、初期微動(P波)の後に、大きく揺れる本震(S波)が到達します。地震時管制運転装置は、これらの震動を感知し、エレベーターを最寄り階に停止させます。現在、国内のエレベーターの7割程度に装備されています。

さらに、P波センサ付地震時管制運転装置を備えたエレベーターなら、初期微動P波を感知し、最寄り階に自動停止し、大きな揺れ(S波)が来る前に迅速な避難が可能です。その後、揺れが小さい場合は自動的に運転を再開します。このP波センサ付地震時管制運転装置は、2009年9月に改正施行された建築基準法施行令により、2009年以降のエレベーターの新設及びリニューアルの際には設置が義務付けられています。
(※一部例外もあります)



【P波センサ付地震時管制運転のフロー】

3. 地震時管制運転装置の認知度は65.6%

地震が発生した場合、エレベーターを自動的に最寄り階に停止する装置があることを知っていますか？との質問に対して、65.6%の方が知っていると回答しました。

Q3. 地震が発生した場合、エレベーターを自動的に最寄り階に停止する装置のことを知っていますか？

	実数	比率
知っている	1,969	65.6%
知らない	1,031	34.4%
計	3,000	100%

4. 地震時管制運転装置をすべてのエレベーターに設置して欲しい

今回の調査で、すべてのエレベーターに地震時管制運転装置を設置して欲しいとの回答が68.9%に達し、設置率の向上を求める意見が多いことが判明しました。

Q4. 地震が発生した場合、エレベーターを自動的に最寄り階に停止する装置を、すべてのエレベーターに設置して欲しいですか？

	実数	比率
全てのエレベーターに設置して欲しい	2,068	68.9%
全てではなくとも設置して欲しい	514	17.1%
設置して欲しいとは思わない	82	2.7%
わからない	336	11.2%
計	3,000	100%

■地震時エレベーター自動診断&復旧システム「ELE-Quick(エレクイック)」

地震を感知して停止したエレベーター自身が、
安全を確認次第、再始動開始

●「ELE-Quick(エレクイック)」とは？

地震発生後、「地震時管制運転装置」により運転を休止したエレベーター自身が異常の有無を自動診断して安全性を確認し、約30分※で自動復旧するシステムが「ELE-Quick」です。同システムは三菱電機ビルテクノサービスと三菱電機が共同で2005年12月に国内で初めて技術開発し、2006年10月から運用開始しました。

※最下階から最上階の高さが30mの場合



■調査概要

《調査時期》 2016年6月初旬

《調査方法》 インターネットを通じてのWEB調査

《調査対象》 ◇20代から60代以上の男女各300名/有効回答3,000名

	20代	30代	40代	50代	60代以上	計
男性	300	300	300	300	300	1,500
女性	300	300	300	300	300	1,500
全体	600	600	600	600	600	3,000

◇回答者の属性 ※有職者が回答(パート、アルバイト含む)

《住所》

	実数	比率
東京都	1,902	63.4%
大阪府	1,098	36.6%

《オフィスビルへの勤務状況》

	実数	比率
オフィスビルに勤務している	1,241	41.4%
オフィスビルに勤務していない	1,759	58.6%

■会社概要

■社名:三菱電機ビルテクノサービス株式会社

■設立:昭和29年3月29日

■資本金:50億円

■売上高:3,198億円(2015年度)

■事業内容:トータルビルシステム事業(昇降機、空調・冷熱機器等ビル設備等の販売、据付、保守、故障修理、改修工事、遠隔監視・制御。ビル診断・コンサルティングやリニューアルなど)

■代表:取締役社長 吉川 正巳

■社員数:9,234名(2016年4月1日現在)

■本社:東京都荒川区荒川7-19-1

■事業所数:約280箇所(2016年4月1日現在)